

高坂 節三著「経済人から見た日本国憲法」PHP 新書 2008年7月29日刊を読む

(1)長い間、世界を旅し、海外生活を経験させていただいた私は、旅をするたびに訪問国の解説書、歴史書、あるいはその土地の人が書いた小説などをもって旅を続けました。

P.204

(2)私をもっとも懸念するのは、日本人の自律性の欠如、「国に頼って、国を支えず」という精神構造なのです。

P.213

(3)オランダにとってのドーバー^{かいきょう}海峡にあたる、ホルムズ海峡、マラッカ海峡の安全保障は日本にとっての生命線であることを認識しておく必要を感じるのです。

P.221

－ 2008年8月5日－